



資料館 だより

2021年 1月号 No.54

目次▶ ① ② …事業報告 ③ …事業予定、新収蔵資料の紹介 ④ …恵庭神社遥拝所跡、開館カレンダー

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様にとりまして、輝かしい一年でありますことをご祈念申し上げます。
本年も皆様に親しまれ、愛される郷土資料館を目指して参りますので、是非、ご来館ください。
郷土資料館 職員一同

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について



- 感染の状況によって掲載のイベントが中止になることがあります。
- 発熱や咳など風邪のような症状がある方のご来館・ご参加はご遠慮ください。
- ご入館・ご参加時には三密を避け、マスクの着用をお願いします。
- ご入館時に緊急時の連絡・確認等のため、連絡先などのご記入についてご協力をお願いします。
- 感染防止のため、手指の消毒の徹底をお願いします。
- 館内での密集を防ぐため、一時的に入場制限をさせていただく場合があります。

事業報告 第7回カリンバまつり ～君も縄文人になろう～



▲石器づくりの様子

10月10日(土)、郷土資料館で第7回目のカリンバまつりを行いました。例年夏休みに実施していましたが、新型コロナウイルスの影響で延期し、石器作りとまが玉作りだけを行いました。午前に行った石器作りは千歳市埋蔵文化財センターの直江係長を講師にお招きし、6名の参加者が黒曜石の石器作りに挑戦しました。参加者の皆さんは苦戦しながらも、何とか鋭い刃部を

作り出すことに成功していました。午後は小学生を中心に17名が参加して、滑石を紙やすりで磨くまが玉作りを行いました。今年一つも割れることなく、皆さん上手に出来上がりました。



まが玉
出来上がり!

事業報告



9月 ●12日…遺跡見学会 ●19日～10月11日…写真展「ティマル」

10月 ●10日…カリバまつり ●24日～11月15日…「市になったころの恵庭」

11月 ●28日～12月15日…収蔵資料展「火鉢」

12月 ●5日…カリバ講演会

令和2年度 恵庭市郷土資料館遺跡見学会



7年目となる遺跡見学会は9月12日(土)の午前に北海道大学で行いました。今年は12名が参加し、北海道大学埋蔵文化財センターで考古学を研究されている守屋豊人先生のご案内のもと、大学構内の遺跡トレイルウォークと総合博物館の遺跡関連コーナーを中心に見学しました。当日は見学会には最高の曇天で、守屋先生の熱心な解説も加わり、参加者の皆様にもご満足いただけたようです。

企画展 「市になったころの恵庭」



恵庭市市制施行50周年記念にちなみ、「恵庭市」となった昭和

45年前後の様子を収蔵資料で紹介しました。家庭で使用されていたカラーテレビやステレオ等の電気製品をはじめ、レコード、謄写版、市制施行記念品、雑誌・新聞、市内を撮影した写真等約70点の資料を展示し、「生産と生活の調和した都市」を目標に掲げた当時のまちの様子を振り返っていただきました。

第7回 カリバ講演会



12月5日(土)午前に「北方四島の遺跡と擦文文化」と題して北海道博物館の学芸員(考古学担当)鈴木琢也氏にご講演をいただき、恵庭市民会館の大会議室には30名の参加者が集まりました。鈴木さんは2006年から14年間にわたりビザ無し専門家交流による北方四島の考古学的な調査・研究を進めてきました。ご講演は北方四島の遺跡の話はもちろんですが、北海道から国後島への船での移動の様

子や宿泊施設、また風景や食事など滅多に聞けない北方領土の遺跡や興味深い話を数多く聞かせていただきました。参加者の皆様にもご満足いただけたものと思います。

収蔵資料展「火鉢」 展示資料から



収蔵資料の金属製火鉢は、どれも色合いや図柄がよく似ていますが、中に重さが極端に違う物が含まれています。よく見ると、大半の資料が銅製であるのに対し、一見同様に見えるジュラルミン製の火鉢があることに気づかされます。ジュラルミンはアルミニウム、銅、マグネシウム等を混ぜて作られた合金で、軽くて強度が高いことから飛行機やトラックの材料としてよく知られています。金属素材が不足した戦後、銅に似た色づけをしたジュラルミン製の火鉢が多く出まわったものと思われます。

事業予定



1月 ● 5日～28日…令和2年新収蔵資料展 ● 16日…カリンバ土曜講座①

2月 ● 6日～3月14日…ひな人形展 ● 20日…カリンバ土曜講座②

3月 ● 20日…カリンバ土曜講座③

カリンバ土曜講座

今年で8年目を迎えるカリンバ土曜講座は「道央の遺跡II」を共通テーマに春に開催の予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期し、右記の日程で開催します。ぜひご参加下さい。

※新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための対策を講じた上で、開催する予定です。ただし、今後の感染拡大状況によっては、開催を中止する場合があります。



あらかじめご了承ください。
承ください。

1月16日(土) 恵庭市郷土資料館 学芸員 鈴木将太

「みぞで囲われた縄文遺跡のなぞ～恵庭市の発掘調査から～」

2月20日(土) 千歳市埋蔵文化財センター 主事 和田 由希絵氏

「千歳の遺跡ものがたり～北海道の歴史を紡ぐ～」

3月20日(土) 北海道埋蔵文化財センター 主査 藤井 浩氏

「北広島の遺跡と発掘調査」

時間

各回とも10時00分から11時30分

会場

恵庭市郷土資料館

定員

各回とも先着20名

その他

事前申し込み必要、要マスク着用

ポスター

カリンバ土曜講座	
2021年	各回共通
第1回 1月16日(土)	10:00～11:30
第2回 2月20日(土)	恵庭市郷土資料館
第3回 3月20日(土)	小学4年生以上
定員	各回先着20名
申し込み	事前申し込み必要

恵庭市郷土資料館 TEL/FAX 0123-37-1288

新収蔵資料の紹介

トランシーバー

三洋電機株式会社製

昭和48(1973)年、テレビ局が行った懸賞に当選し、賞品として送られた本格的なトランシーバーです。当時は、刑事ドラマや特撮テレビドラマ全盛期。登場人物の仲間たちとの連絡手段がトランシーバーでした。大人気となり、子どもの向けの簡易的なものが玩具店でも販売されるようになりました。

恵庭市内固定電話加入数が11,941世帯中5,616件(昭和48年)と50%に満たない時代、携行できる通信機器トランシーバーは夢のようなグッズでした。

あまり使用せず、長年、大切に保管してきたものだそうです。

この資料は令和2年新収蔵資料展で展示中です。



恵庭神社遥拝所跡

ようはいじょ

<恵庭市林田>

市内林田地区、漁川南12号橋を渡ってすぐ右手に恵庭神社遥拝所跡があります。ここは、かつて稻荷神をお祭りしていましたが、大正13(1924)年、ご神体が恵庭神社に合祀され、平成8(1996)年には社も撤去されたことから遥拝所跡となり、石碑が建てられています。

また、幕末の探検家 松浦武四郎が恵庭を訪れた際、著した「イザリブト番屋の図」に描かれ

た番屋があったと推定されている場所でもあり、時代を超えて人々が集い、行き交う交通の要衝となり得た証となっています。現在、遥拝所跡が面する市

道の切替工事が行われており、完成するとこれまでとは180度方向転換され、漁川を背にして地域を見守り続けることとなります。

漁川にかかる南12号橋より遥拝所跡を臨む(写真右上の木立が遥拝所跡です)



郷土資料館 開館カレンダー



1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

- 毎週月曜日が**休**館日です。
…▶ただし、月曜日が休日の場合、**開館日**です。その場合、振替となり火曜日、水曜日が**休**館日となります。
- 休日は**開館日**とし、翌日が**休**館日になります。
…▶ただし、土曜日、日曜日にあたる場合は、**開館日**です。
- 毎月最終金曜日は、資料整理のため**休**館日となります。
- 年末、年始の**休**館日は、12月28日～1月3日です。

休館日の詳細



編集後記

昨年11月に花の拠点(はなふる)がオープンしました。住所は資料館と同じ南島松。距離は約2kmあり徒歩では若干遠いですが、車では5分かかりません。なんとか人の流れができてほしいです。(よ)

資料館だより No.54 2021年1月5日発行

発行 恵庭市郷土資料館 住所 〒061-1375 恵庭市南島松157-2 TEL/FAX 0123-37-1288

開館時間 午前9時30分～午後5時 入館料 無料